

胃がん・肝細胞がん予防サーベイランス体制検討ワーキンググループ

(令和元年度)

胃がん・肝細胞がん予防サーベイランス体制検討ワーキンググループ 報告書

広島県地域保健対策協議会 胃がん・肝細胞がん予防サーベイランス体制検討ワーキンググループ

WG長 茶山 一彰

令和元年7月24日、11月18日に委員会を行った。小、中、高校生に対する血液検査に関しては、学校教育法による定めがないことから極めて困難であることが予想され、全数調査は困難である可能性が示された。尿検査に関しても新たな項目を設定するにはさまざまな手続きが必要であり、容易でないことが明らかになった。よって、全数調査は断念し、市町村で住民からの抽出検査による疫学的調査を行う

のが現実的であるという結論に達した。

まず、モデル地区を設定することとし、各市町村にアンケートを用いた問い合わせを実施、3地区で実施が可能であるという結果が得られた。血液による肝炎ウイルスの検査、ヘリコバクターの検査に加え、希望者には腹部エコーも実施することが計画された。

広島県地域保健対策協議会 胃がん・肝細胞がん予防サーベイランス体制検討ワーキンググループ

WG長	茶山 一彰	広島大学大学院医系科学研究科消化器・代謝内科学
委員	相方 浩	広島大学病院消化器・代謝内科
	伊藤 公訓	広島大学病院総合内科・総合診療科
	應和 卓治	広島県健康福祉局薬務課
	加藤 勇人	広島県地域保健医療推進機構
	吉川 正哉	吉川医院
	桑原 正雄	広島県医師会
	田中 純子	広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学
	津谷 隆史	広島県医師会
	豊田 秀三	広島県医師会
	豊田 義政	広島県健康福祉局がん対策課
	久岡 桂子	広島市健康福祉局保健部
	光野 雄三	呉市医師会
	三宅 規之	広島県医師会
	山田 博康	広島県医師会
	横山 行男	横山内科医院
	吉原 正治	広島大学保健管理センター